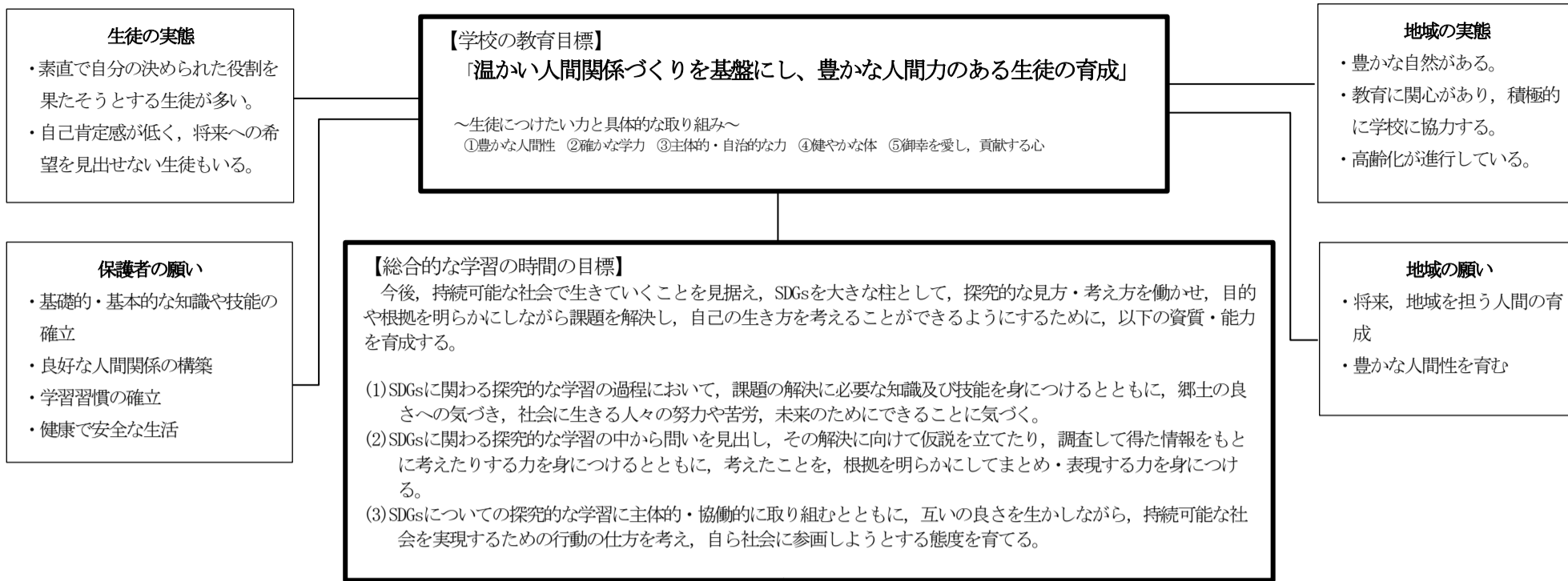


総合的な学習の時間

令和6年度 御幸中学校 総合的な学習の時間 全体計画



【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学年	第1学年「知る」		第2学年「深める」		第3学年「広げる」				
単元名 (テーマ)	よりよい環境づくり ～自分の身近に存在する現代的な諸問題と、SDGsに照らした改善策～ (身近な地域)	働くことについて考えよう ～さまざまな職業を知ろう～ (職業・勤勞)	働くことについて考えよう ～働くことの意義や将来の生き方について考える～ (職業・勤勞)	身近なSDGsへの理解を深めよう ～小松市の良さ・課題と地域の人の思いを知ろう～ (現代的な諸課題)	特色ある都市から学ぼう ～修学旅行で訪問する都市と小松市を比較する～ (現代的な諸課題)	住みよい社会をつくろう ～自分たちの住むまちをより良くするための提言～ (町づくり)			
探究課題	身近なSDGsの発見、発掘および自らの生活とSDGsとの関連	仕事や働くことと自らの生活との関連	働くことをめぐる現代社会の様々な課題および職業とSDGsとの関連	小松市の現代的諸課題への気づき及びそれに関わる人々の思いや願い	小松市の現代的な諸課題の提起とSDGsを踏まえた町づくりや地域活性化のための取組				
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	思考力・判断力・表現力等	概念的な知識	自然環境や社会の中に起きている問題の解決は、自分だけでなく他の人や地域全体で、目標を共有して取り組むことが必要であることを理解している。	さまざまな職業について知ることから、働くこととは、収入を得るだけでなく、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていることなどの意義を理解している。	働くことはどういうことかについて多面的に捉え、働くことの意義を理解している。	小松市には、その良さを発信したり、継承したりする人々や組織があり、それぞれが連携して取組を進めていることを理解している。	国際文化観光都市奈良・京都についての理解を深めるとともに、町づくりや地域の取組を理解している。	小松市には、その良さを発信したり継承したりする人々や組織があり、それぞれが連携して取組を進めていることを理解している。	
		技能	小松市の環境がどのようなものかをつかむための調査を、適切な方法で実施している。	収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。	目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集している。	目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集している。	地域の現状をとらえるために、インターネットやインタビューなどによる調査を、相手や目的に応じて適切な方法で実施している。		
		探究的な学習のよさの理解	小松市の環境問題と自分の生活とのかかわりに関する理解は、探究的に学習してきたことの成果であることを理解している。	働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択だけでなく、今後の自分自身の生き方に深くかかわっていることを理解している。	探究学習を通して、現在と将来の自分を結びつけて、自己の生き方を主体的に考えることが自己実現につながることを理解している。	小松市の良さや諸問題に対する認識の高まりは、それらを考えることを探究的に学習してきたことの成果であることに気づいている。	探究活動を通じて、SDGsを踏まえた町づくりや地域活性化に向けた取組について考えることができる。		小松市の良さや課題と持続可能な小松市の在り方について探究し続けてきたことにより、自らの行為が未来の社会に深く関わっていることに気づいている。
		課題の設定	GIを通して知った身近な問題状況を自然環境・福祉・産業の視点でとらえるとともに、根拠を明確にして自らの課題を設定し、解決への見通しをもって計画している。	働くことの意味について、今まで考えてきたことと働いている人の考えとの違いから、この活動の意図や目的を明確にして課題を見出している。	働く意義について他者と自分の考えを比較したり、思いを共有したりしながら、課題解決への見通しをもって計画している。	小松市の現状から課題を発見し、その根拠を明らかにし、解決への見通しをもって調査活動に関する計画を立てている。	観光都市奈良・京都の魅力と小松市の現状を比較することで、小松市の将来像を考え課題を設定し、解決への計画を立てている。		小松市の活性化について、小松市の実態や他地域との比較から課題を設定し、その解決に向けて計画を立てている。
		情報の収集	探究テーマに応じて、必要とされる小松市の現状に関する情報を、さまざまな方法を組み合わせる等して、効率的に収集している。	課題の解決に必要な情報を、適切な手段で収集し、種類や項目に応じて蓄積している。	課題の解決に必要な情報を、適切な手段を選択して収集し、種類や項目に応じて蓄積している。	小松市の現状や課題についての情報を、適切な手段を選択して収集することができる。	課題の解決に向け、修学旅行で体験したことや訪問して収集した情報をもとに実態やテーマに応じて蓄積している。		小松市をよりよくするための課題解決に必要な情報について、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。
		整理・分析	収集した情報を多面的・多角的に比較・分類し、問題解決に向けた取組を考えている。	他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、表現方法を組み合わせたりしている。	課題解決に向けて、観点に合わせて情報を分類・整理し、考察している。	収集した情報を、目的に応じて整理したり、他地域や過去の小松市の実態と比較したりするなどして分析し、具体的な取組を考えている。	収集した情報を、目的に応じて整理したり、分析したりして、課題解決に向けた具体的な取組を考えている。		収集した情報を、目的に応じて整理したり、他地域や過去の小松市の実態と比較したりするなどして分析し、具体的な取組を考えている。
まとめ・表現	伝えたいことに応じて調査結果を効果的に表現し、自分たちができることを提案している。	調べたり、考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。	体験したり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。	収集した複数の情報を比較したり関連づけたりしながら、確かな理由や根拠をもち、解決に向けて考えることができる。	持続可能な社会をつくるための自分の考えを、表現する目的や相手に応じて内容を構成するとともに適切な方法を選択し、論理的にまとめ表現している。				

学びに向かう力・人間性等	自己理解・他者理解	自ら設定した個人テーマの特徴を自覚し、見通しを明らかにしながら計画書を作成し、探究活動に取り組もうとしている。	課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、自信の活動を振り返りながら次の活動に生かそうとしている。	自ら設定した個人テーマの特徴を自覚し、見通しを明らかにしながら計画書を作成し、探究活動に進んで取り組もうとしている。	自分の周りのSDGsについて関心を高めたり、調べ活動の中で他者の考えを認めたりしながら、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。	地域の良さを生かした活性化の在り方について関心を持ち、それぞれの地域の現状を捉えたり、未来予想をしたりするとともに、互いのよさを活かし自分の意志で目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	
	主体性・協働性	よりよい環境を作るための自他の意見や考えを認め、協働して学び合おうとしている。	自他のよさを生かしながら、協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えの良さを生かしながら、協働して学び合おうとしている。	小松市の課題についてそれに関わる人々の思いや願いを生かしながら、課題解決に取り組もうとしている。	地域活性化のための探究的な活動を通して、自分と異なる意見や考えを認め、協働して学び合おうとしている。	小松市のよさを生かした活性化を進めるため、まちづくりに関わる人々等と協働して探究活動に取り組もうとしている。
	将来展望・社会参画	自然や生活環境が持続可能なものとなることを目指して、自分でできることに取り組もうとしている。	仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。	働くこの意味や価値について自分の将来と結び付けて考えるとともに、自分にできることを見付けようとしている。	小松市の諸問題について自分にできることを考えたり提言したりしている。	地域発展のために自分ができることを考えたり、課題解決に向けて取り組んだりすることを通して小松市との関わりについて見直そうとしている。	持続可能で魅力的な小松市を実現するため、小松市のよさを認識し継承したり、人々と関わったりすることの重要性に気づくとともに、進んで小松市の行事等に参加しようとしている。

【指導及び評価】

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動やGTの積極的な活用を図る。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制を組織する。 ・ICTや学校図書館等の環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況を把握するための評価基準を設定する。 ・個人内評価を重視する。

【各教科・領域等との関連】

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	特別の教科 道徳	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを論理的な文章で表現し、自分の考えを分かりやすく伝える。 ・自分の思いや考えが相手に伝わるよう、コミュニケーション能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象を見つめ、情報の収集や整理能力を養う。 ・持続可能な社会の実現の視点も踏まえて、課題の設定や課題解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目してとらえ、論理的、統一的・発展的に考え、表現する。 ・データを分類し、グラフや表にまとめ、論点を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験などの科学的に探究する方法を用いて課題設定や課題の解決を図る。 ・資料を活用し、データをまとめて表現する能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に対する感性を働かせながら、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連づけて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせて、デザインやレイアウトなどにおいて創意工夫を凝らし、発表に必要な能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全に関する原則や概念をもとに、健康を支える環境づくりに向けた取り組みについて考える。 ・運動やスポーツの価値や特性に着目して、自己の適性等に応じた多様な関わり方と関連づけて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会における事象について、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に注目して技術の最適化を図る。 ・家族や家庭、衣食住、消費や環境などの生活事象について、よりよい生活を営むために工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる言語や文化に関心を持ち、広い視野から多面的・多角的に様々な事象をとらえる。 ・英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事象について道徳的諸価値をもとに広い視野から多面的・多角的にとらえ、自己の生き方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な集団活動において、課題を見出し、課題解決に向けての話し合いを通して、合意形成や意思決定を行う。
【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理して書こう ・根拠を示して説明しよう 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活と環境 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・比例と反比例 ・資料の分析と活用 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・植物の特徴と分類 ・活かしている地球 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・人の暮らしを豊かに ・暮らしに息づく土の造形 ・広がる模様の世界 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ・心身の機能の発達と心の健康 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食文化 ・材料と加工法 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson5 School Life In the U.S.A. ・Lesson8 Green Festival 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・花火に込めた平和への願い ・違いを乗り越えて ・富士山から変えていく 	【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・学級生活の向上 ・助け合う学級
【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えを踏まえて発言する ・根拠を明確にして意見を書こう 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査 ・産業革命と資本主義の成立 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数 ・確率 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の体のつくりとはたらき ・天気の変化と大気の動き 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歌やカントォーネの良さや美しさを味わい、表現を工夫しよう 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・つくって使っていて味わう工芸 ・手から手へ受け継ぐ 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ・傷害の防止 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい住生活を目指して ・コンピュータと情報通信ネットワーク 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson2 将来の夢を紹介しよう ・Lesson5 Things to Do in Japan 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動する建築家 ・戦争を取材する 	【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習に向けて ・中学卒業後の進路
【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会との関わりを伝えよう ・話し合って提案をまとめよう 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と文化 ・地方自治と私たち 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y = ax^2$ ・標本調査 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・自然界のつり合い・持続可能な社会をめざして 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・受け継ぐ伝統と文化 ・布を染める 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ・健康と環境 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と地域との関わり ・プログラムによる計測・制御 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson3 The Story of Sadako 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分・相手・周りの人 ・世界を動かした美 ・ゴリラのまねをした彼女を好きになった 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来を考える ・進路選択と将来設計

【地域との連携】

